総合的な被害対策や取組~体制整備や合意形成~

兵庫県立大学自然·環境科学研究所 教授 山端 直人

自己紹介

農林水産省⇒三重県庁⇒現職

山端 直人 兵庫県大/森動センター

専門:「農村計画」「アクションリサーチ」 「野生動物の被害管理」

~社会調査、集落づくり、被害防除、 捕獲、政策提案まで~

0

2

研究活動の目的

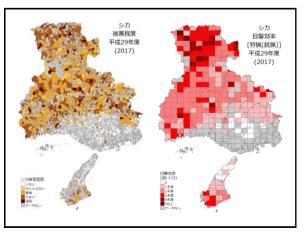
■獣害を解決できる社会(集落や地域) とは、どのようなものか

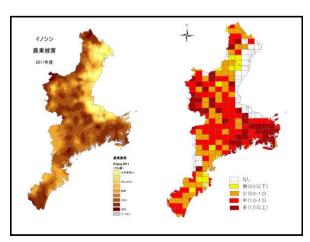
⇒たぶん、これからの縮小社会の農業農村をはじめとする種々の地域 社会課題解決に役立つ

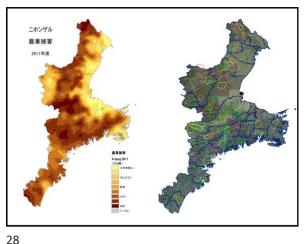
野生動物管理の概念 山林 農地周辺の 環境整備 山林の環 境整備 農地 防護柵 エサ資 密度管理 源低減 追い払い 加害個体 群れの管理 の捕獲 個体数管理 生息地管理 獣害対策(被害管理)

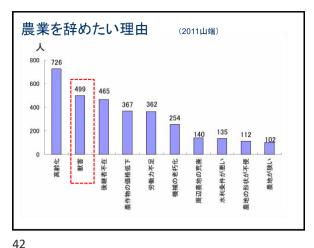
4

9











数年前のサル群や集落の様子。現在、この問題は ほぼ解決しています。

- ■だから「役所が」「誰か」なんとかしろ?
- ■住民の役割は? 行政の役割は?

49

- ■ここには、種々の地域社会の問題に共通 する課題が見えます
- →獣害(に限らず)を真剣に考えると、種々 の地域社会の問題解決につながる(はず)

48

お話ししたい内容

- ●獣害が発生する原因
- ●原因を改善することで、獣害を軽減できることは可能 ※その実例や手法(柵、追い払い、捕獲)
- ●獣害につよい集落・地域をつくる手法
- ●地域社会や農業問題としての制度設計 ~どうやって、「できる」仕組みを作るか~

被害をなくすには? 集落 危険 危険 食物 集落・地域を「エサ場」にしない取り組み +捕獲や山林の管理

52 59

地域でみられる 「<mark>獣害」の5</mark>つの原因



62 63





70



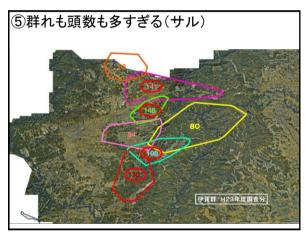


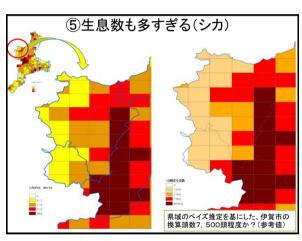
91 99



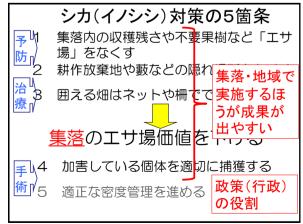
集落わなの捕獲効率 200 36%が捕獲数0頭 150 52%が2頭以下 落 100 数 50 10 15 20 25 30 シカ捕獲数とイノシシ捕獲数の合計/年・集落 集落がわなを購入、または市町から借り受け、集落周辺に設置し、農業者 が浦獲班と連携しながら捕獲を勧めている集落のつち、平成24年度の捕獲数が判明している460集落の捕獲実績(農会アンケート調査より)

107





113 114

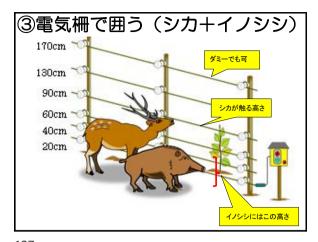


サル対策の5箇条 集落内の収穫残さや不要果樹など「エサ 場」をなくす 集落・地域で 耕作放棄地や藪などの曝れ実施するほ 囲える畑はネットや柵でうが成果が 人里は怖いと覚えさせ<mark>る</mark>だ出やすい ら必ず追い払う 集落のエサ場価値を下げる 政策(行政) 群れ単位に頭数をコント の役割

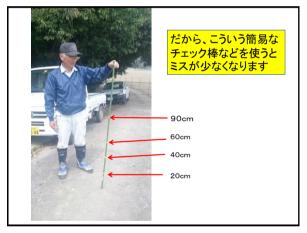
119 121

ここで紹介するのは

~各地での社会実験~



122 127





133 134

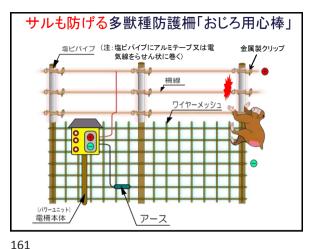
兵庫県 相生市小河集落

中程度密度?地域での 集落主体防護+捕獲モデル

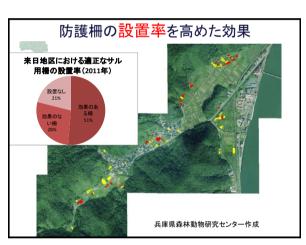


150 155

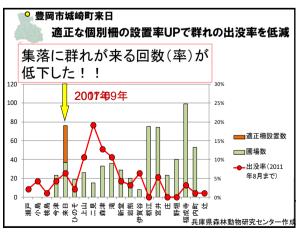




兵庫県 香美町来日



165 167



三重県伊賀市 子延集落

168 178